

委員会の検討内容とスケジュール

1. 委員会における検討内容

本委員会においては、貴重な空間を最大限有効活用するため、産学官連携の観点も踏まえ、現地実証を希望する技術開発の課題を広く募集し、それを踏まえ施設の利用方法、利用条件等を検討し、その後、公募を実施し提案課題の審査を行う。

2. 検討スケジュール

(済) ●第1回委員会 (H26年1月22日)

- ・公募内容の概要と施設の利用条件について議論。
- ・技術開発の意向募集について議論。

(済) ●意向募集の実施 (H26年1月24日)

- ・南鳥島を利用して、技術開発実施の意向を募集。

(済) ●第2回委員会 (H26年3月18日)

- ・民間企業、大学、独立行政法人等の機関から提出のあった技術開発の意向を取りまとめ。
- ・提供設備や利用条件に関する要望について議論。
- ・提案された意向の内容について委員会からコメントするとともに、公募要領(案)を検討。

(済) ●公募の実施 (H26年4月23日～9月19日)

(済) ●第3回委員会 (H26年11月19日)

- ・公募要領に基づき提案課題の審査を行い、「南鳥島を活用した海洋関連技術開発の実施基本計画(案)」を策定。

(済) ●同島管理者と実施予定者との調整 (H27年2月23日)

- ・実施基本計画(案)に基づいて、事務局及び同島管理者等と実施予定者で現地実証の工程等を調整する。

(今回) ●第4回委員会 (H27年3月26日)

- ・実施予定者と調整を行った結果を報告し、同基本計画を策定。

●第5回委員会 (H27年度末予定)

- ・H27年度の技術開発の実績について報告。

3. 現地実証の予定時期

現地の受入体制や技術開発の準備が整っている課題については、渡島環境が整い次第、平成27年度途中より順次、現地実証を開始する。